

校庭の木々もみずみずしい若芽をふき出し、陽射しがすっかり明るくなって、春の訪れをそここに感じさせる頃となりました。先日もテレビで「卒業」をテーマにしたヒット曲の特集番組が放送されていました。その時はそれほど意識して聴いていなかった曲も、今、耳にすると、当時の情景が昨日のことのようによみがえってくるから不思議です。



もう何度春を迎えたことでしょうか。そして、今年も183名のみなさんが、ここ朝明中を巣立っていきます。

輝く未来に向かって

3年生のみなさん、卒業おめでとう！

保護者の皆さま、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。卒業という節目を迎えたお子さまの姿に、感慨もひとしおのことと思います。お子さまに対して、いつも温かなまなざしで見守り続けていただいたご苦勞に敬意を表しますとともに、いつも本校の教育活動に深いご理解とご支援、ご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。



さて、今年の卒業生は、まさに新型コロナウイルス感染症に学校生活が大きく左右された中学3年間を過ごしました。入学時からマスク生活を強いられ、実施することができなかった学年行事もありました。また、校舎の大規模改修工事のために、活動範囲が制限されたり、昇降口が変わったりと、校内でもめまぐるしく動線の変更がありました。1年時には、運動場や体育館が使用できず、四日市ドームでの体育祭、四日市市文化会館での文化祭の開催と、例年では考えられない会場と日程を、コロナのすき間を縫うように開催をしました。



ちょうど今年の卒業生が生まれた2007年（平成19年）-2008年（平成20年）にヒットした曲の中には、あの文化会館のステージで吹奏楽部の演奏に合わせて歌い踊った嵐の「Happiness」があります。なつかしいですね。

2年生では、1年時に中止になった「自然教室」、2年時に中止になった「職場体験学習」に代わって、せめてもの学年行事をと、ここも限られた日程の中で、デイキャンプをしましたね。そして、3年生の修学旅行。今年は、四国、淡路島、関西方面へ。思い出に残る素敵な旅になりました。

ひとつひとつのことが、昨日のように思い出されます。それぞれを終えるたびに、胸をなでおろした日々に、確かな達成感と大きな感動が残りました。

コロナ禍で過した3年間、我慢したこともいっぱいありましたが、それだけに、この困難を乗り越えたという経験を、後の力に変えてほしいと思います。絶対できると信じています。

ロックバンドのRADWIMPSが2020年の新型コロナウイルス感染症が拡大し始めたころに発表した「ココロナカ」という曲があります。不安と倦怠に裏打ちされて先行きがまったく不透明だったころ、この歌を聴いて少し勇気をもらいました。歌詞の内容をよくかみしめてみると、何だかとてもわかる気がします。

現実とは 時にどんな物語よりも残酷で 冷たくて 容赦なく僕らを踏みつけるけど
でも 現実とは 時にどんな物語よりも美しく あたたかい そのことを僕らは知っているから
僕ら今まさに 歴史の教科書の上 ならばいざ行こう どのページよりもさ 眩しいストーリーを
なぜなら 僕には帰りたい 明日があるから 僕にはまた逢いたい あなたがいるから
僕には言えてない 「ありがとう」ばかりで また逢えた その時は 覚悟してよ朝まで
今は泣かないよ 泣く時は次会う時 それまでは 溜めとくよ 涙袋に
永遠でも 一瞬でもないこの命を抱え 僕らは 輝く術を探してる
でも 計算違い 晴天の霹靂 ピンチの連打 日々 それでも 這い上がるスペックを持っている
僕ら眼に見えない 敵との最前線で 我らの子孫たちよ 瞬きのひとつもせず見とけ 是が非で
僕には叶えたい 明日があるから 僕にはまだなりたい 自分がいるから
あなたがいる今日が 何よりも嬉しくて あなたと見てみたい 景色で溢れてる
僕の当たり前の日々が 今ではまるっきり違う色に見える
僕には戻りたい 明日があるから 僕にはまた逢いたい あなたがいるから
僕には言えてない 「ありがとう」ばかりで また逢えたその時は 覚悟してよ朝まで
なんでもない日々が なんの気なく過ぎる なんてことない僕が あくせくと生きてく
あの日々が来るまでは その時が来るまでは 楽しみを何百個と 書きためておくとしよう
それをパンパンに詰めて抱きしめてよう いざ行こう さあハッピーエンドよ そこで待っている

そしてこの「ココロナカ（心の中）」は文字を並び替えると「カコノコロナ（過去のコロナ）」になります。文字通り、コロナ禍が過去のものになったときに、今年の3年生がこの朝明中で過した3年間はまさに歴史に残る3年間となることでしょう。



どんなときにも仲間とともに、明るく前向きに、そして我慢強く学校生活を送ることができた今年の3年生。卒業に向けての合唱も、日に日に上手くなり、1年前とはまるで違う素晴らしいハーモニーを聴かせてくれました。あの歌声を聴いて、本当に胸が熱くなりました。みんな素敵です。

この学校通信のタイトルにもなっています、「和」「学」「鍛」の校訓のもと、朝明中学校で、勉強や運動に、学校行事や部活動に、仲間とともに歴史に残るコロナ禍をやり抜いた卒業生のみなさん、輝く未来に向かって巣立ちゆくみなさんの今後の飛躍とさらなる成長を心より期待しています。

卒業おめでとう！

